

# カンパの救援運動 皆の力で集った尊い金

金九州を走り廻るように飛べ狂つて過ぎ去った台風九号の惨禍は生々しいツラさを残していつたが、とくに甚大な被害を受けた長崎県、香川県、伊予県、高松県は、たまたま被害を受けずとも、全力をあげて防いでいます。ちよちよと海潮が押し寄せたため防波堤までハカイされています。

端島では全力をあげて被害の修理に励まされています。これは完全に全滅するのではないかと、その状態は、ほとんど雨とまで心配されています。しかし



メチャメチャになった社宅(端島)

## 雨露しのぐ程度

端島では全力をあげて被害の修理に励まされています。これは完全に全滅するのではないかと、その状態は、ほとんど雨とまで心配されています。しかし

## 好評の坑内情宣

### 主眼は現場の声をきく

三川支部教育委員会は八月半ばから、坑内情宣がその後、月日が経つにつれて成果も次第に上つており、好評をうけています。

教育委員では今年度の活動方針が出るや、たまたまこれを主眼とする活動に取らなうが、一つは労働者階級であり、一つは労働者階級の育成だ。

この一端をみてあげていただければ

内情宣で、教育委員が月、火の二日間坑内に入り、一部一、二名の労働者で教育を行っている。午前八時の入場、午後二時、午後三時半ごろ退坑している。

情宣は現場の休憩所で行われているが、通り一へんの情報提供だけでなく、いろいろと労働者階級の育成に努めている。また、坑内の月、火の外に土曜日は坑内現場情宣も併行して実施している。

## 市教委をさぐる

十月一日を期して新しく発足した教育委員に三級労働者から、大牟田市教委に湯村誠男(宮浦) 湯村誠男(三川)の二氏が任命された。



いまの場合方法がないので、柱の残ったままにタンをぶき、板を張って収容したという事だ。労務ではこの仲間の現状にたいして救済の手をばじめました。

三池でも労務の指示に従い、先月よりこの風水害被災にたいして救済の手をばじめました。先月よりこの風水害被災にたいして救済の手をばじめました。

## 北鮮の人にも

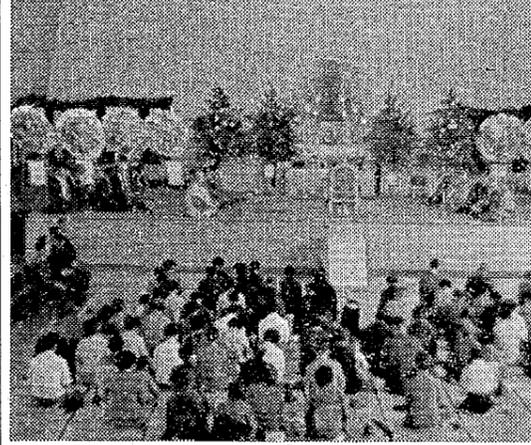
一方北鮮労働者たちへの一掃り米カンパは大地評議下の単組でも展開して労働者たちは、これに深く関心しています。三級労働者、主婦会、労働者連帯会、このうち

## 殉職者慰霊祭

三級労働者は九月二十八日、午前十時本社体育館で遺族参列の下に挙行された。

## 組合役員補選

十四日に開票(宮浦) 宮浦支部では副支部長の湯村誠男氏が大牟田市教育委員に任命されたため、支部役員を補選することになった。



二百二十柱のめい福と祈る祭場(体育館で)

米の配給制度が十月一日から実施される。大牟田市、組合から河野野郎の配給を折った。

西本願寺大牟田別院の導師の儀香のち祭主佐藤三郎所長、米袋大取行われた。

二百二十柱のめい福と祈る祭場(体育館で)

## 米の配給制変る 十月一日から実施

大牟田市、組合から河野野郎の配給を折った。

西本願寺大牟田別院の導師の儀香のち祭主佐藤三郎所長、米袋大取行われた。

二百二十柱のめい福と祈る祭場(体育館で)

湯村誠男 大牟田市教育委員に任命

大正十二年四月生れ、大牟田市、一男一女の父として活躍している。



白飯は四四。(七分つき)であり、新米は九二。(完全白)を配給するが、この場合価格は「つき賃」を基本価格に加えたものとする。

東庄労働者組合(組合員三千三百三十人)では米要求平均三万七千八百六十円を要求していたが、会社側の回答は二万四千九百九十円を米として、五日後二時から労働者組合で代表団五百名が臨時大会を開き、絶対多数で東庄労働者組合が掲げている「正礼闘争」を展開することになった。

三川 一組合員